

平成27年第3回(6月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問項目	質問項目
つくし野	横尾 秋洋	1 一期四年の総括について	(1) 市長は一期四年の市政運営をどのように評価しているのか。
			(2) 無投票当選の意義をどのように捉えているのか。
		2 東日本大震災と関連し、自然災害について	(1) 東日本大震災について
			(2) 予測される震災に対する予防について
		3 行財政改革について	(1) 計画行政と効率経営の推進について
			(2) 人材育成と組織整備について
			(3) 健全な財政運営について
			(4) 移動市長室の開催について
			(5) 第五次筑紫野市総合計画について
			(6) まち・ひと・しごと創生における地方版総合戦略について
			(7) ふるさと応援寄附金制度について
			(8) マイナンバー制度について
			(9) コンビニ収納について
			(10) 内部・外部評価委員会制度について
		4 産業・雇用をつくるについて	(1) 企業誘致について
			(2) プレミアムつき地域活性化商品券の発行について
			(3) 農業振興について
			(4) 観光について
		5 生活を守るについて	(1) 安全安心のまちづくりについて
			(2) 防犯について
			(3) 高尾川・鷲田川の河川改修について
6 共助社会づくりについて	(1) コミュニティ運営協議会について		
7 未来をつくるについて	(1) 子育て支援事業について		
	(2) 子ども医療費支給事業について		
	(3) 教育行政について		
	(4) 文化・歴史の継承と進行について		
	(5) 山家地区の産業廃棄物処理施設計画について		
	(6) 山神ダム上流域に位置する最終処分場について		

平成27年第3回(6月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問題目	質問項目
つくし野	横尾 秋洋	7 未来を作るについて	(7) 地域交通について
			(8) 筑紫駅西口土地区画整理事業について
			(9) 公共施設等総合管理計画の策定について
		8 平成27年度の予算編成について	(1) 一般会計において前年比6億1百万円減の予算について

平成27年第3回(6月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問題目	質問項目
市民会議	上村 和男	1 産業・雇用をつくるについて	(1) 地域産業の活性化と雇用の拡大について
			(2) 農産物の安定供給について
			(3) 観光資源の有効活用の検討について
			(4) 産業雇用の創出(定住促進・人口増加・消費の拡大)について
			(5) 創業支援事業計画について
			(6) 地産地消について
		2 生活を守るについて	(1) 防災体制について
			(2) 健康づくりについて
			(3) 地域包括ケアシステムについて
			(4) 生活困窮者自立支援について
		3 共助社会づくりについて	(1) 地域コミュニティづくりについて
			(2) 情報発信について
			(3) 人権尊重について
			(4) 男女共同参画について
		4 未来をつくるについて	(1) 子ども・子育て支援について
			(2) 産廃問題について
			(3) 循環型社会の形成・自然環境の保全について
			(4) 地域公共交通について
			(5) 公共施設等総合管理計画について
			(6) 総合教育会議について
(7) コミュニティスクールについて			
(8) 子どもの貧困について			
5 行財政改革について	(1) 市民に信頼される人材育成と職場づくりについて		
	(2) 第五次筑紫野市総合計画と地方版総合戦略について		
	(3) 市債残高と財政計画について		
	(4) 市庁舎建設について		
	(5) 行政情報の提供について		

平成27年第3回(6月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問項目	質問項目
公明党 筑紫野市議団	佐藤 政志	1 地方創生について	(1) 「総合戦略」については、どのように策定されるのか
			(2) 女性が輝ける地方をどう作るかが成功のポイントと言われていますがどのようにお考えでしょうか
			(3) 経験豊かな市民の皆様にご活躍をしていただける環境づくりについて
			(4) 地域に根差した資源やアイデア、人材、宝を見つけるための検討委員会又は調査研究委員会等の設置について
		2 観光政策について	(1) 本市の訪日外国人観光への取組みについて
			(2) 訪日外国人、観光案内公共サインの整備計画について
			(3) 公衆無線LANの整備計画について
			(4) 近隣市を含めての検討委員会について
		3 認知症対策について	(1) 認知症の早期対応について
			(2) 認知症サポーターの育成等の取組みについて
			(3) 福岡県認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク推進連絡協議会について
			(4) 本市での今後の取組みについて
		4 「健康ちくしの21」について	(1) 目標を達成するための施策の評価と進行管理について
			(2) 市民にわかりやすく、取組みやすいものについて
			(3) 市民に向けて、健康に関する情報の提供について
			(4) これまでの目標の達成度と成果について
			(5) 今後の健康寿命の延伸への取組みについて
		5 子ども・子育て新制度について	(1) 定員数と待機児童の解消について
			(2) 今後の確保予定数について
			(3) 障害児の保育について
			(4) 小規模保育、そして家庭的、事業所内保育等について
			(5) 本市の子育て支援アンケートで把握されたニーズの内容と今後の取組について
		6 空き家対策について	(1) 本市の今後の取組みについて
		7 防災・災害対策について	(1) 被害防止へ、更なる情報伝達の拡充について
			(2) 防災・減災に向けての、「9月1日を筑紫野市ハザードマップ活用の日」と定めてはどうか
			(3) 福岡県西方沖地震が発生して10年になります。これまでの調査結果と今後の予想と対策について
		8 学校教育での取組みについて	(1) がん教育について
			(2) 認知症教育について

平成27年第3回(6月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問項目	質問項目
日本共産党 筑紫野市議団	城間 広子	1 戦争法案ストップ、平和憲法遵守について	(1) 戦争法案をストップし、平和憲法を遵守するよう、国に意見をあげるべきでは。
		2 原発ゼロの政治決断について	(1) 国に、原発ゼロの決断を促すべきではありませんか。
			(2) 本市においても、原発に頼らない、再生エネルギーによる地域おこし、雇用の拡大を図るべきでは。見解を。
		3 TPP（環太平洋連携協定）交渉について	(1) 国民の食の安全、農林水産業、医療を守れないTPP交渉から撤退するよう、国に意見をあげるべきでは。
			(2) 市として、地産地消の学校給食、青年就農給付金制度のさらなる拡充など、農業政策を充実すべきでは。
		4 アベノミクス、消費税、社会保障について	(1) アベノミクスをストップし、国民本位の経済政策を進め、消費税10%増税をやめるよう国に求めるべきでは。
			(2) 社会保障の連続改悪を中止し、社会保障に必要な財源を確保するよう、国に意見をあげるべきでは。
		5 ブラック企業の規制、労働法制改悪について	(1) 労働法制の改悪に反対し、中小企業への抜本的な支援とあわせた最低賃金の引き上げを国に求めるべきでは。
			(2) 市として、働く人の権利を守る労働相談の窓口を広げるなどの対策を講じるべきではありませんか。
		6 高齢者福祉の向上、子育て支援、教育について	(1) 高すぎる国民健康保険税の引き下げを
(2) 介護保険料の引き下げについて			
(3) 中学3年生までの医療費の無料化を			
(4) 少人数学級の拡充について			
7 コミュニティバスについて	(1) 施政方針で述べられている新たな検討は、コミュニティバスの実施を視野に入れて進められるのか。		
8 環境行政について	(1) 平等寺、山口地域をはじめ市民の命の水を守る立場から、業者が撤去しないなら、県に代執行を要請すべきでは。		
	(2) 水の安全を確保するため、市独自で、山家地域の水のモニタリング調査を住民とともに実施すべきでは。		
9 同和行政の終結について	(1) 運動団体補助金を見直すべき、特別対策を終結し必要な事業は一般対策で全市民を対象に実施すべきでは。		
10 市庁舎建設について	(1) 全国でPFI方式で庁舎を建設した例があるのでしょうか。お尋ねします。		
	(2) VFM（バリューフォーマネー）が、過大に算定され、PFIが加速されてきたとの指摘がある。市の見解は。		
	(3) PFI事業が10年以上たち事業破たんや事実上の倒産事例が相次いでいる。PFI方式はメリットがあるのか。		
	(4) PFI事業は、「税財源以外の収入により費用を回収する」のが目的だが、税財源依存となるのではないか。		
	(5) 民間資金を活用すれば、事実上の借金が増える。後年度負担の急増は行財政運営上、回避すべきではないか。		